9 de Junho de 1922 No. 244

Noticias do Brazil

大正十一年六月九日　金曜日　第二百四十四號

伯剌西爾時報

NOTICIAS DO BRAZIL
Publicado semanalmente
Rua Fagundes N. 16
Caixa Postal H
Tele. Central, 5695
S. Paulo, Brazil
Proprietario e editor
Seisaku Kuroishi

Assignaturas
por Anno ..... 15$000
,, Semestre ..... 8$000
, Mez ..... 1$500
,, Semana $500

元氣の減殺

◇自ら刺戟を起せ

熱帶地方は寒氣の刺戟極めて少なきが故に、動もすれば心身に倦怠を來し、元氣を減殺するの恐れがあり、現に吾々の居住する聖州及び近州も夏は我四國よりも涼しく冬は九州よりも暖かく、温度の上から云へば實に申分なけれど、氣候佳良にして年中花を見ると共に、社會的自由の空氣と無制裁とは却つて心身に倦怠を惹起し、其の結果元氣を減殺するの弊あるは大に注意すべきである。

我同胞の來伯當時元氣旺盛にして追々之が減退するの傾きあるは、強ち氣候の爲とは云ひ難きも、伯國の空氣に慣るに從ひ義憤も薄らぎ、犧牲の念も去り、詭詐を普通として世之を怪まざるが如きは、伯國は餘りに寛大に過ぎて制裁力なく、自分の爲さんとすることは勝手次第と云ふ所から、自然各自の有する本能性と故國の惡習慣とを露出して顧ざるに至るのであらうが、之は畢竟外部より持掛らるゝ刺戟が缺けるに由り心に倦怠を惹起す爲である。

又尙一つの原因は衛生を怠ること起る弊害で、身體が病魔に捕はれ其の結果活動を殺れるからである、例へば我同胞は、珈琲園に於ても自作農場に於ても、衛生の設備に關しては殆ど意を用ゐぬので、或場所は家の周圍に養豚用と稱して溜水を蓄へ、蚊の發生を殊更作つてマレータに罹つたり、又或場所は赤痢、窒扶斯が流行するも一向隔離を爲さざるのみか、却つて進んで病人に接近し病人の家族は亦其の汚物を放り散して、傳染を助くるが如き觀あるは如何にも無智危險なことである。

初め餘り强烈ならずして追々元氣を殺ぐものには、十二支腸蟲病ありトラホームがある、是等は少しく注意すれば素人にも容易に判斷が可能治療法も至つて簡單であるにも拘らず、在伯多數の我同胞は殆ど之に意を留めざるが如く抛擲するを常とするが、此の十二支腸蟲病は慢性マレータの如く、身體を疲勞せしめ、元氣を殺ぎ、働き能率を著しく減殺するものであり、トラホームも亦氣を腐らし働き能率を減殺するが中にも、小供は殊に頭腦を惡くし發育を妨げられるものである。

故に吾々は伯國に於て大に爲すあらんとするには、第一生活の安易、自由の空氣、社會の無制裁に囚はれず、此處は吾々の第二の故郷を造る に天が與へた大切な場所として、昔日本は土地を整理し耕作反別の增大を計ると共に、工業を盛にして國民の生活を安全ならしめやうとはして居るものの、年々七八十萬の人口增殖は如何しても國内では捌がつかぬから、他に適當な吐場―植民地―を獲ねばならぬことは、今日極めて急切なことゝなり、而して其の吐場の選定に就ては滿洲論者もあり、南洋論者もあつて皆其れ〳〵相當の根據もあるが、要するに移民は植民と變り永く其の場所に落ち着いて、幸福と繁榮とを得るに非ざれば日本の海外發展の目的には添ぬので、是には伯國は誂へ向きであるから、此の點から云つても吾々は大に自ら刺戟して、常に元氣の持主たるを努ざる可からずである。

●聯合國對英負債

戰爭と共に聯合各國は米國に對して多額な債務を負ふた、何處の國際會議にも之が問題になつて一つも纏らず、爲替變動豫防も物にはならず、債務相互棒引案も一蹴されて、米國は債權百億弗の利子の請求をしたので、英國も亦その負債國へ利子支拂を請求した、今本年二月十五日現在の聯合各國の、英國に對する債務額を見れば左の如くである

佛蘭西	五七二、五二四、〇〇〇磅
伊太利	五〇二、〇七五、〇〇〇
塞比亞	二二、二四七、五〇〇
ギリシヤ	二二、五七八、〇〇〇
羅尼亞	二二、一一二、五〇〇
葡萄牙	一八、五七二、五〇〇
白耳義	一〇三、〇〇〇、〇〇〇
露西亞	五六七、〇〇〇、〇〇〇

佛蘭西は七千五百萬磅の金を保證として、償還額に應じ返金の約束の下に預入れた、即ち英國は米國へ支拂の爲に其の聯合側の諸負債國へ催促をしたのである。

●伯羅貿易に就て（上）

去る五月三十一日ブラジル地方協會席上でルウマニア國がラツツ駐在伯國領事パラニョス、シルバ氏の報告書が讀まれた、次の譯文はうの大要である。

世人の既に知れる如く、ルウマニア及び其他のバルカン半島諸國は、歐洲戰爭の慘害を蒙つた、その爲に一は貨幣價値の下落、他は爲替相場の不斷の著しき動搖である。

戰前に於てはルウマニア貨幣『レイ』は佛國貨法と同價値を有し、時には法はレイに對し打歩を持つ事さへあつた。處が戰爭と共に數月を過ぐるや、十五乃至三十六センチシモの間を上下するに至り、遂には巴里取引所では僅に八センチシモの格付を有するに過ぎないまでに下落した。之は政治經濟上に基く、種々な原因に加ふるに、外國金融家の投機の與つて力があつたのだ。之が羅國市場と伯國との直接取引の障碍であつた事は明かである。然し羅國市場と我が貿易の顧客に加ふることの利益の點から、兩者に滿足を與ふるやうな、迅速な方法でこの問題を解決する爲に最も適當な手段を研究する事に全力を盡くすことは、正しい政策でもあり、賢いやりかたでもあらう。

一方之等バルカン諸國が、吾人の助力なくしては吾人との通商は、尙ほ暫くの間は殆ど禁せられて居らねばならぬとし、他方我が輸出に對し、最も痛切に感ぜしめる事の一は、充分な自由の行動をなし得るやうな、強大な銀行信用が得られない事であるとしたら、如何にしてこの吾人の助間に横はる障碍を除くべきか。之に對しては有力な貴協會の、余の理想に賛助あることを期待して、も少し後に述べたい。

實にルウマニアの如き國に於ては、戰前でさへも、輸入品に對する支拂を容易にすると云ふことは、凡ての取引に於て資本に次ぐ重大な事であつた。そして貨幣價値下落や、爲替の動搖の爲に、其の資本金を五割六割と減少するやうになつた、大部分の商店會社や地方銀行の助力者の金融責任や收容能力減少が明かであるので、現今行はれてゐる影響をも容易に結論することが出來る。

歐洲强大國及び米國の銀行組織は、是が非でも輸出業者をして、自國產品のみならず他國產品をも、彼地に賣捌く事の出來るやうになつてゐるかうして割のいゝ仲介貿易者として一體なら直接貴込人が得べき、又は多量消費の數でこなして、商品を安價ならしめて、法外の利得を減少すべき、莫大な利得を擅にしてゐる。

然し不幸にして、かうした吾人の望むやうな制度はない。然し若し他の方法が吾人に提供されるなら、吾人は直接輸出及び廣汎なる發展と云ふ吾人の經濟策に依つて、目指す標的に達する爲に、利得を以て確實に進み得られやう。

之等の必要や便宜やらをよく諒解すれば、我が領事館所在地ガラツツの如きバルカンの港に、伯國品の陳列倉庫を創設する、と云ふ主意に一考を煩はす價値があるやうに思はれる同市に於て此の件に關して極力活動をしたそして同地商業界は、多年吉良の手段として、余が領事の職にある間、かなり以前に計畫してゐた草案によつて、陳列倉庫を創設する利益を、兩氏に感得せしめるために、諒解を得るやうに派遣する事となつた。そしてその陳列場は、誠實と支拂能力の確な知名の士に委ね、吾人の直接の指導の下にあらしめるのである。

今日余は同商會が同一の意見を主張し、出資者の一人フオンセッカ、アラウジョ氏を我が國に派遣した事を

豫約者大募集

申込締切七月卅一日　締切後は正價に復す

『葡語手紙の書方』は中尾熊喜氏五年間苦心の著書にして杉山帆影氏の改竄に成る葡文和譯應用自在の獨習書なり故に本書を熟讀せば葡文の手紙を容易に書き得るは勿論會話をも正確に學び得て適れ一廉の葡語通と成り得べし尙ほ附錄には著者多年の經驗より案出せる文法の活用を最も平易に說明しあれば本書は眞に一讀三得の良書なり

伯剌西爾時報社著
葡語手紙の書方
附 文法活用自在

菊版美本全一冊
紙數三百頁以上

豫約一部十ミル（外に送料一ミル）

正價一部十二ミル（外に送料一ミル）

本書は正價金十二紙（外に送料一紙）なるも豫約期間内は十紙（外に送料一紙）なれば豫約者は廉價購求の特典あり
本書の豫約締切期限は七月卅一日にして締切後は直ちに正價に復すべければ入用の士は前金にて豫約御申込あれ
▲本書發送は來る八月一日より着金順に之を始む

豫約申込所　伯剌西爾時報社

NOTICIAS DO BRAZIL Caixa Postal, H S. Paulo

▼▲東西南北▼▲

◆佛首相ポアンカレー氏は海牙會議參加國へ覺書を送致し佛國の對外政策を示したその要旨は同會議に於ては負債私有財產信用を討議の要有

◆債務は國家が國家に對するものと私人に對するものとあり國家に對するものは兩當事者は露國の支拂能力經濟復能力に應じ償還方法を定め

◆私人に對するものは公債所有者と露當局の責任者と直接諒解の下に解決されるのが最も簡易な方法である

◆又私有財產に就ては勞農政府の爲る損害を受けた凡ての外國人に對し返還賠償等の必要あるを說き露國復舊に關し對露借款は先づ勞農政府の態度如何に依る即ち地方農家が其の勞作の報酬を得て自己の欲するものと交換し得る安全を期するに非ざれば彼等は農產奬勵に復歸しない故に地方勞働の根定を定める必要有

◆海牙會議の仕事は露國の經濟狀態を酌酌し露國をして完全に承諾せしめ得る綜合案を以てせざる可らず總ての政府は露國復興案に諒解を得

◆露國の要求する借款及びその復舊策も完全したるものを要し本月十五日乃至廿日の會期は僅少に過ぎ重大な對露問題解決は困難だらう云々

◆露國勞農政府は目下步兵四十七騎兵卅四師團獨立步兵卅五旅團と强大な豫備軍を擁し近く波蘭羅馬尼攻擊開始の筈で軍器製造工場も活動を始め波國側では防禦策戰準備中だと

◆次期大統領問題から先月末からパラグワイは革命が勃發した反軍の將チエリフエ大佐が時何攻擊して來るか知れないとア市の人心戰々兢々

◆國外への通信は禁止され政府は廿歲以上三十歲の全國民を召集首府周圍に塹濠を廻らし高層建築物を選み大砲四十二門を据付ける物々しさ

◆前大統領は獨逸公使館へ逃げ更に亞國へ遁れ下院議長は烏國公使館へ隱遁外交團は亞國公使館内に集合在留國民保護に關して協議を凝した

◆レニン又々病氣重態を傳へられ既に獨逸からフオエルステル教授を招いて治療中だが更にクレンペレル教授を急電で招請愈々壽命盡くか

◇外電一束◇

◆高橋内閣瓦解

三日高橋首相は政局の現狀に鑑み内閣總辭職を閣員に計り五日遂に總辭表を提出した之に對し樞密院では緊急會議を開き政局變動に據り華府會議決定事項遂行には何等影響を及ぼさゞる旨議決された(東京電報)

◆正金香港支店盜難

香港來電として倫敦電報の報ずる所によれば横濱正金銀行香港支店に於ては四十萬弗の銀行券紛失したと

◆日智交歡

智利の日本公使館附海軍武官は五日バルパライ倶樂部に智利海軍將星を招待し交歡の宴を開いた(サンチャゴ電報)

◆墨國移民法改正

メキシコ市電報によれば墨國政府は現行移民法を改正して外來移民者に便宜を計ることになつた

◆佛國海上博覽會

佛國政府は前獨船バタビア號(一萬二千噸)を海上博覽會船に仕立て佛國生產品を陳列して南米東海岸諸港よりマゼラン海峽を經て西海岸諸港を巡航せしめる由(巴里電報)

◆北極探險出發

探險家アムンドセン氏は三日諸學者同伴マウド號でシャートルを出發七年計畫で北極探險の途に就いた(シャートル電報)

◆露大使信任狀無効

米國々務省は米國駐劄露國大使に今月三十日限りその信任狀は無効なるべき旨通告した(華府電報)

◆支那雜俎

埃門の狀態は靜穩に歸したとあつて葡國は軍艦派遣を中止したとリスボン電報曰ふ、又同地騷擾支那に於ては同地方回收熱盛となり示威運動を行ひ國交斷絶を叫び飲料水糧食品等供給を拒み葡國船に對しボイコットが始まつた(倫敦電報)

支那大總統は辭職した(北京電報)

張作霖の軍は山海關まで退却吳佩孚は北進を繼續し山海關在留外人に立退方を通告した(天津電報)

◆佛國死亡率

本年上三ケ月間佛國の出生死亡統計によると死亡者數の出生數を超過する事實に一割三歩だと(巴里電報)

◇經濟欄◇

●順調を持續する三ケ月間 外國貿易實況

本年一月以來減退しつゝあつた伯國輸入貿易は三月に入つて一月及び二月の輸入量を遙かに突破した然し之は例年見る現象である即ち各月の輸出入額を示せば

		輸出 數量 噸	輸出 伯貨額 コント	輸出 英貨額 千磅
輸入	一月	一六三、三四四	一九、四四一	六、一六六
	二月	一四二、七三三	一六〇、七一〇	五、〇三三
	三月	一五〇、三五六	一七、七一七	五、五二一
輸出	一月	一八七、五五二	九二、五四八	三、八三五
	二月	二一八、〇四八	一〇〇、三七一	三、一五三
	三月	二〇五、九五五	一〇〇、七四六	四、一九七

此の三ケ月の輸出入額を前年と比較する時は

		輸出 數量	輸出 伯貨額	輸出 英貨額
輸入	一月	一九二二	五三、二八八	一六、七〇一
	二月	一九二一	三六九、二一八	一四、六五一
	三月	一九一三	二六六、八九一	一七、七九三
輸出	一月	一九二二	三二四、一六五	一〇、一八二
	二月	一九二一	五八二、七四六	二四、一七三
	三月	一九一三	二六六、六六二	一七、七七七

かくの如くして本年は二〇七、七〇三コントス即ち六、五一九千磅の輸出超過を得たが昨年度同期に於ては二一四、五二八コントス即ち九、五二二千磅の輸入超過に終つたとにかく一般に改善の氣運に向つたがまだ畜產界が依然として振はないので、改善の速度は遲緩である又農產物の大部分は昨年に比し價格を增加した

●畜產界依然不振

畜產界の不振は皮革及び毛皮を除いて一般に依然としてゐる一月乃至三月の三ケ月間の動物性產物の輸出額は

	數量 噸	價額 コント
一九二二	一六、〇五七	三四、九二四
一九二一	四〇、八一六	四九、一三一
一九二〇	三九、六一一	七二、一三一
一九一三	一〇、四三一	一〇、一〇九

主要なる減退品は豚脂、冷肉、乾肉である即ちその三ケ月間の輸出量は

	一九二二年	一九二一年	一九二〇年
豚脂	四五噸	一、八〇一噸	二、二九九
冷肉	四、三三九	二六、二九九	七八
乾肉	—		

●サントス港四ケ月間 出入船舶數

本年一月乃至四月間にサントス港に於ける出入船舶數を前年同期と比較して示せば

	入港船	隻數	噸數
一九二二	六三七	一、六二三、〇六三	
一九二一	五三一	一、三四五、六七一	
出港船			
一九二二	六四五	一、六三八、六九一	
一九二一	五四八	一、三七〇、六三六	

●煉乳輸入

伯國はその所有牛頭數から見れば全世界の牛頭數の四分一を有するに拘はらず尙ほ練乳を輸入してゐる昨年度の練乳の輸入は二六三噸價額一六五コントスで前年來に比する時は減少を示した即ち前數年の輸入額と比較すれば

年次	數量 噸	價額 コント
一九二一	二六三	一、一六五
一九二〇	一、二四一	三、六八二
一九一九	一、二六一	三、一八二
一九一八	七七〇	一、八二六
一九一三	四、〇〇四	四、三九六

一九一五年乃至一七年は各年二千噸以上を輸入してゐたのを見れば戰後漸減を示してゐる戰前に於ては主要輸入國は瑞西で一九一三年の輸入總額四、〇〇四噸中三、五四一噸を輸入した次いで米蘭諸英の順で戰後は米國が第一位を占めた練乳の最多量輸入港はバラで一九一三年には九五五噸を輸入した次いでリオ七八五噸マナオス五六九噸サントス五五〇噸マセイカ、マラニオンの順で戰後もこの順位は變更しない。之に依つて北部地方の畜產が幼稚で供給の需要に伴はない事が明かである

●鐵道電化外債

月曜日紐育に於て伯國中央鐵道電化事業遂行の爲公債二千五百萬弗が賣り出された額面は九十六半利子七歩償還年限三十年で保證として鐵道收入優先權が提供され政府は毎月この爲相當額をリオの銀行に支拂實行を約した尙ほ初十五年に全額の六分一に達する額の償還基金を積立てゝ償還し得一九三七年六月以後は殘額の三分一償還に充つることを得る又此の償還は各六ケ月毎に行はれて額面は一〇二とす、本公債は現在及び將來に於て伯國政府の課稅を免除さる

●本年初三ケ月間 珈琲輸出額

本年初三ケ月間に輸出されたる珈琲の價額は伯國總輸出額の六割七歩に相當してゐる數年間同期の輸出狀況を示せば

年次	數量 千袋	伯貨額 コント	英貨額 千磅
一九二二	三、四三五	三、六四、六二三	二、四四六
一九二一	三、三三四	一、九九、六三一	七、七三五
一九二〇	二、八七七	二、三三、三七七	八、五九一
一九一九	一、〇〇八	三、四二、六三一	一八、六三七
一九一三	二、七三四	一、五九、二六〇	九、六五一

以上各年の一袋當平均價格は

一九二二	一〇五ミルレース
一九二一	五九
一九二〇	八八
一九一四	八四
一九一四	五四

●パラナ州 知つた振(八)

帆影

◆リオネグロ市(承前)

本市は海拔七百九十五米突の高地にあり、市を洗つて流るゝリオ、ネグロは、イグアッスウ河口まで小蒸汽船の航行が出來る。對岸のサンタカタリナ州のマッフラ市とは、長さ百十米空幅八米突の鐵橋で聯絡してゐる。一八七〇年四月二日村となり一八九六年十二月一日に市制が施かれたのである。

首府クリチバからは、ポンタグロッサを經て、サンタカタリナ州へ行く鐵道から支線が通じてゐる、その距離は百六十キロ二百三十五米突である。又サンタカタリナ州の生命、とも云はれるショイビレ市まで、百五十七基米突の車道が通じてゐる。

人口はアントニイナ市に等しく、約七千五百乃至八千を數ふるが、何がさてマテ茶產出の本場だけに、經濟的活力はグッと上位にある。

◆パルメイラ市

クリチバからポンタグロッサへ行く鐵道沿線の小都市で、海拔八百六十四米突、パラナ第二高原地方で、附近は太洋に大波のウネリの如く、緩慢な起伏を以つた美しい平野である。電燈の設もあつて人口は七千內外である。

◆カストロ市

チバヂ河の支流、ヤボウ河の左岸に位し、海拔九百五十七米突、サンパウロ、リオグランデの鐵道が通じ一八五七年一月に市制を施かれた、靜かな小都市である。

◆ラパ市

本市は農產取引の盛な市である。昔は此處は南部地方から、ソロカバナ定期市へ產物を出す爲め、馬隊驢馬隊のトロウバスの所謂宿場だつた一八〇六年に村となり、一八七二年三月市になつた。人口は約一萬二千で首府クリチバと鐵道が通じてゐる一八九三年の聯邦黨反亂當時、ゴメスカルヲイロ將軍が、破竹の勢ひで押し寄せた反軍を、廿六日間の防禦戰で、遂に守護し通したと云ふので有名である。尙ほ同市附近はマテ茶の產地として忘れてはならない。

拜啓 小生儀從來Garage Normalに就業致し居り候處今回都合に依り同所を退し左記の處に營業有罷候間今後小生に關する用事及び御手紙等は左記宛に願上候

大正十一年六月九日

自動車運轉手 青木梅雄

GARAGE MICADO
Rua S. João, 140 S. Paulo

●物價表(昨日)

棉花上(ヘンラーマ)	一アローバ	四〇、〇〇〇	—
同(ヘンカローソ)	一アローバ		—
米 特等	六〇キロ		—
同 最上等	六〇キロ	三五、〇〇〇	—
同 上等	六〇キロ	三二、〇〇〇	—
同 並等	六〇キロ	二九、〇〇〇	—
モミ 特等	六〇キロ		—
同 最上等	六〇キロ		—
同 上等	六〇キロ	二一、五〇〇	—
砂糖 特等	六〇キロ	四二、〇〇〇	—
同	六〇キロ		—
豚脂 (マスカボ)	一	一四、〇〇〇	—
同 聖州產	一	一八、〇〇〇	—
同 (南リオ州產)	一	一五、〇〇〇	—
マンヂオカ粉	六〇キロ		—
メリケン粉(亞國產)	四四キロ	三三、〇〇〇	—
同 (內國產)	四四キロ	三三、〇〇〇	—
豆 (ムラチニオ、セッカ)上	六〇キロ		—
同 (中)	六〇キロ		—
豆 (ムラチニオ、アクア)上	六〇キロ	二八、〇〇〇	—
同 (中)	六〇キロ		—
豆 (ブランコ)	六〇キロ		—
(アマレリニオ)	六〇キロ		—
同 (アマレロ)	六〇キロ		—
同 (アマレロン)	六〇キロ		—

何人も座右缺くべからざる

葡和辭典

實價一冊拾貳ミルレース
外に送料壹ミルレース

右御入用の方は至急御購求を乞ふ

『伯刺西爾講習錄』は全部賣り切れに付今後御入用の方は同書の姉妹編とも云ふべき『葡語手紙の書方』を御注文願ひたし。詳細は一面の豫約募集廣告御一覽の上御承知を乞ふ。

伯刺西爾時報社營業部
NOTICIAS DO BRAZIL
CAIXA POSTAL, H
S. PAULO

◇廣告◇

左記諸君の現住所御一報得度候

山崎庄馬　野中重助　五島菊市
河村末太郎　島田數惠　竹田森次郎
中牟田榮太郎　福光仲藏　大河內增太郎
佐々木一　佐藤星霜　田の上熊五郎
吹谷重次郎　須藤點治　澁谷常次郎
明和定吉　吉田由次郎　久保勇市
西留助遺族　荒木丈吉遺族
大塚丑太郎遺族

◆先頃計算書と同封御送附致候委任狀並に差入證は此後諸君の利益のために必要なものに候間當社よりの文面御熟讀の上此際御送附置被下度候

◆當社貸付者にして最近他轉し未だ居出なき諸君はその耕地殖民地名、線名等を詳記し御一報被下度候

大正十一年六月

海外興業株式會社伯國支店
Caixa Postal, 1082 S. Paulo

宗教論壇

◉基督教の起源

小林美登利

私は此迄重に一般宗教と云ふものに對する概說をなすに過ぎませんでしたが然し此から愈々本問題の基督教其ものに就て私の信ずる儘を述べ、在伯同胞中の幾多數ある眞面目な人々の心靈に訴へて見度と思ひます。抑も基督教なるものは何處に其起源を開いて居るかと申しますと今より千九百二十數年前即ち紀元前五六年頃にパレステナの一角に呱々の聲を揚げた歷史的一人物なるイエス、クリストに始まつて居る事は云ふ迄もありません（紀元元年を以てクリストの誕生とするは歷史的事實に相違す）。然しクリストが世に姿を現して即ち公生涯の人となつて活動されたのは紀元廿四五年頃から同廿五六年頃の間で其間僅かに二年內外の短期間でありました。此短い間のクリストの活動が實に過去二千年間幾億の生靈に生命と能力とを與へ且つギリシャローマの文明と合して今日の世界文化を建設するに至つた一大要素となつたのでありますが彼れの中に働いた靈力の如何に偉大なものであつたかは只此丈の歷史的事實に徵するも明かであります、況んや今後幾萬年とも計り難い人類歷史の將來に如何な結果を齎すかを思へば更に驚くべきものがあるのであります。

基督教を只其教理や道德的教訓の上から見れば儒教佛教若くは其他の教說道話と類似の點が多々あるので氣の早い者は基督教も儒教も佛教も同じものだなどゝ早合點したがりますが、然し大宇宙の神を背景として我等の前に立つイエス、クリストの人格そのものは到底他に之に比すべき何物をも見出す事が出來ないのであります。之れ我々基督教徒が儒教や佛教にある眞理を認め又他の倫理道德に相當の價値を見出しつゝも敢て基督教に滯り且つ單に自ら信ずるのみにあらずして人にも傳へずんば止まない熱心を有つ所以であります。基督教は云ふ迄もなく徹頭徹尾クリストと云ふ一大人格者が中心であり基督教徒とは即ち此クリストの人格の感化を受けた者を指すのであります斯の如く我々は基督教の起源及び其眞髓をクリスト自身の靈的生命並に人格そのものに見出すのであつて聖書並に教會等に傳はる種々なる傳說教訓儀式等は第二第三の問題であります。何となれば其等は要するにクリストの生ける人格の反響に過ぎないからであります。それで之から私の述べやうとする事も枝葉の傳說教義などに拘泥せず先づ深くクリストその者の本體に突入して其生ける人格と靈的生命に觸れて見度いと思ふ次第であります。

◉謫所の舊獨皇太子（三）

世界復興の最大にして唯一の障碍は賠償問題の解決である。そして獨逸に復興の好機を供することが、最良の策であると、太子は思考してゐる太子は曰ふ『現狀は此のまゝ繼續さるべきでない、萬事は惡から凶に進みつゝある。獨逸は餘儀なくさせられた財政上の義務を履行する事は、全く絕對的不可能である。獨逸は降參したと云ふ事に依つて、支拂を强ゐられるのは仕方がない、然し有るだけしか拂へない、無い袖は振れぬのだ。獨逸の能力に應じて支拂額が定められ、或る一定の期間、即ち五年十年乃至二十年と云つたやうに、定めらるべきであつた、さもなければ國家もその國民も、その負はされた義務を果す事は出來ない。然し誰が其の額を定め、何者が支拂期限を決定するか、獨逸自身であらうか、否、それは一の國際委員會がその爲に組織さるべきで、その委員として獨、佛、英、伊、米及び數中立國、例へば瑞西、瑞典、和蘭の如きから代表者を出す、之等委員の數は制限され、主として實業家即ち銀行家財政經濟家、例へばケイチス、フーバー諸氏の如き人々で編成さるべきである。かゝる委員會に依つてこそ、初めて獨逸は正當なる支拂額や期限やが定められ得るのである。政治家のみでは此の問題は決して解決さるべきものでない。』又太子の華府會議に對する意見は『約束ではあるが決定ではない。』大艦制限や潛水艇及び陸軍備の許容の如きは、太子の意見としては、實際的誠實の問題だとし太平洋協約に調印した四强國も、皆無定見に行動したのだと云ひ、更に『支那と諸强大國との利害關係の多大なる事は、將來に如何な事が惹起するか、何人も之を豫言する事は出來ない。』

不意に余は、獨逸は再び帝國に還るだらうかと問を發した時、太子は少しも躊躇せずに答へられた『若し獨逸が再び帝國に還り得れば、國家の基礎は强固にならう。そして帝國に還さんとする基礎は、國民の意思のみにかゝつてゐる。現今に於ては共和制が施かれてゐる。この狀態はやがて變改の必要を感ずるに至るまで繼續されやう。若し獨逸が帝政に復古したとしたら、それは力でなされたのではないであらう。余は謀計であるとは信じまい。』

太子はこの帝政復古と云ふ事に就いて、別に興味も感じないやうに、そしてその場合には自分が玉座を占むる等と云ふやうな事は思つてもゐないやうな樣子で語つた。然し帝政否認の表情もなかつた。獨逸の爲には帝政は共和政に優る、と云ふ自己の見解を賤んでゐる。ことは確である

現下の獨逸政客首領連に關しては、大して彼等は强い人ではない、とより他には餘り云はなかつた。それに依り經驗の淺いと云ふ事が充分に證されてゐる。太子はウィルソン、クレメンソウ、ロイドジョウヂ、ハーヂング諸氏に就いて語る。『獨逸國民はウィルソンに欺かれた、と信じてゐる。彼が例の十四ケ條を提げて起つた時、我が國民から救世主と仰がれた。然しその十四ケ條が巴里の會で他の會議仲間を向ふに廻して、頑張る男でなかつたのは事實である。然し多くの獨逸人はそうと判斷するや汽車の災難率は三パーセントに對し飛行機災難率は〇、五パーセントに過ぎないと。

然しその決定に自由であるとは思へない、ハーヂングは先づ立際はうまく行つてゐる、親しく彼を知つてゐるなら彼に就て話して貰いたい。クレメンソウ？あゝもし吾等がクレメンソウの如き人物を有してゐたら、その持久忍耐、創意と決意とこそは吾人が必要としたものである。』

更に舊皇太子はかう云つて余に最後の質問をした『一日余が米國政府へ一年間米國內を旅行し、研學する事の許容を乞ふて、手紙を書いたとしたら、どんな結果が起るだらうか？』之に對し余は聯合國が其れを許容すれば、米國は當然許容すと思ふ旨答へると、太子は『それに關して或る國々は、何等反對はしまいと思ふ。然し聯合國の凡てがさうだとは思はない。』と口をつぐんだ。（完）

◉東京平和博と伯國宣傳活動寫眞

曩に海外興業株式會社で伯國宣傳の爲撮影したグアタバラ耕地移民活動實況、サントスの日本移民上陸光景等の活動寫眞は目下東京上野公園に開催中の平和記念博に映寫非常の好評を博してゐると最近の東京便りのまゝ。

◉リオ、ポルトアレグレ間航空輸送計畫

去る二月中旬南大河州へ向けリオ、ポルトアレグレ間航空輸送航路研究の爲出發此程任務を果してリオへ歸つたヂアルマベティ飛行中尉の談に依れば先づ沿岸線に從ひ五十乃至百基米突位に不時の場合の着陸場救護場を設け有線無線電信電話を備へ夜間飛行の爲に燈臺を設けるそして氣象觀測所を併置するかうしてこの航空路が實現された曉は乘客及び輕量の貨物郵便物を極めて安全に迅速に輸送し得る便利は莫大な者で兩市間の各都市は停留場になる筈だと因に航空危險率に就同中尉の云ふ所によれば自動車や汽車より安全だ相だ即ち米國に於ける統計によると自動車や汽車の災難率は三パーセントに對し飛行機災難率は〇、五パーセント

◉紐育、リオ間伯國ロイド運賃引下

伯國ロイド汽船會社紐育支店では紐育リオ間の旅客運賃引下を發表したその新運賃は一等片道現在二百二十弗を百六十弗に同往復三百九十六弗を三百弗に定め尙ほ百年祭記念博開催中は往復五百弗の遊覽切符を賣出し廿五日間リオ一流のホテルに無料滯在の權利を得せしめる由で同切符は八月十五日から賣出すと之に對しランポート及びムンソン兩社側では此のロイドの値下の爲別に現行の兩社運賃を引下ぐる事はあるまいと聲明した

◉伯國沿海の潮流檢査

水路部では近く伯國沿海の潮流檢査の爲伯國ロイド社に委囑し同社船をして航海中船名、經緯度、風向、風力、海面狀態、氣壓、溫度、日時等を記入し、此の小紙片を拾得者は最寄り港務部へ日時場所を記して通知され度旨記した布告を封入した空瓶を海中に投下せしめると云ふが一寸面白い行方である。

綺麗で、迅速で、丁寧で有名な
石村洋服洗濯所
電話セントラル參貳參四
Rua dos Lavapés No. 236

CASA ALOISE
ALFAIATARIA
Rua Liberdade, 53
Telephone Central, 3844
弊店は常に高尙優美なる新流行服を極めて廉價にて調製いたします
リベルダーデ街五三
カーザ、アロイゼ
電話セントラル三八四四

伯刺西爾時報取次所
旅館 成功館
サントス港 古謝將義
Largo 7 de Setembro, 15
Tel. Central, 2008, Santos

純良
マヤジフ
醬油
ニガ味のあるキ、の薄い醬油にお困りの御家庭は
一度お試し下さい
わたくしが自慢で造つた眞の味とキ、目の二倍ある
ノエロステラ線ペンナン驛
元醸造
藤澤豊次郎

リオ支店
Rua Candelaria, 90
Caixa Postal, 1246
Rio de Janeiro
聖市出張所
Rua Quintino Bocayuva, 80
Caixa, 1714 Tel. Cent. 3449
São Paulo
日本貿易株式會社

聖波羅土地材木殖民會社
◉當社は水質良好、氣候溫和にして珈琲其の他の全作物に適する肥沃なる絕好殖民地ビリグイ。エイトール、レグルーの土地を廉價且つ拂込方法を容易にして賣却す
◉當社は既に千八百家族の各國人を有し、其中四百家族の日本人植民し且道路四通八達し兒童教育機關及日本醫院の設備等あり
◉尙詳細は左記宛御照會ありたし
ビリグイ代理人　宮崎八郎
Est. Birigui　I. NOROESTE

FUJISAKI & COMP.
日本品各種
東京本店　赤坂區溜池町卅三
本店　リオ、デ、ジヤネイロ
支店　ベルナンブーコ
藤崎商會
サン、パウロ支店
Rua S. Bento No. 68-A
Tel. Cent. 2788—Caixa, 344
S. PAULO

目的は一つなれ

アグアミラグローザ耕地 劍華坊

終日辛勞して其の日の事務を遂行し其の目的を達すれば明日は如何なる仕事をして暮す可きかと言ふ事は其の夜の内に決定して置かなければならぬ。若し之に反して茫然として何等の考へも無く翌日を迎ふる時は、さて其の日になつても朝の裡から爲す事なく、忽ち貴重なる一日を空しく經過せしめざるを得ぬ。夫れと同じく一生中の目的は少年時代に於て基礎を定め、以て其各方向に勇往邁進しなければならぬ。之に反して中途にて目的を變換するが如きは策の最も拙なるもので、所謂蛇蝎採らずになつて仕舞ふ曾てダーウイン氏の少時或日捕蟲器を持たずして庭園に出て見ると、非常に珍奇にして且つ美しき甲蟲が凡そ二頭ばかり花輪上に靜止して居る。之を見付けた彼は如何にもして其の甲蟲を捕獲し、其の標本箱に一大光彩を放たしめようと思ひ、捕蟲器はと見廻したが殘念ながら今は所持して居ない。さりとて家に取りに行けば、折角の蟲も遁走するかも知れぬと云ふので、其の一頭づゝを双の手に捕えて居ると、更に一層美麗なる一甲蟲が忽ち彼の眼前に現れたので、一方の手に持つて居た蟲をば手早く口の中に投入して他の最も美麗なる一甲蟲をも捕獲し得たのである。然るに口中に投せられたる甲蟲は、苦悶措く處を知らず多量の惡液を分泌して猛烈なる襲撃を彼の舌面上に加えたので、流石の彼も是には驚易して其儘口中の蟲を吐出し、同時に双手の珍蟲をも放つたので三頭共に悠々として翅音高いて呉れた、其御蔭で手遲れの仕事を終了した、何んでも廢物利用と云ふこともあるが、人間も又待遇と使ひ方に依りては善も惡くもなる、世の不可能でどれも、是れも皆未成未完璧へに一寸の蟲も五分の魂あるの説と同一に、伯人と云へども五分の氏の甲蟲採集に失敗したのも全く此魂があるから、外人扱ひに人種を區の理に外ならぬを知るべきである。別して漫りに粗末は出來ないことを兎角少年、否、青年時代は目的の變り易いもので、又其の目的とする所のものも模倣的のものばかりだから月と共に移り、年と共に變つて行く即ち自分の境遇、趣味、智識の程度如何で屢々變更されるやうだ、我輩が幼時小學校教師を以て自分の終生の希望として居たと云ふのは、我輩が最も親善し最も崇拜する所の人は父兄、母姉以上に教師であつた。然り父兄母姉の言には耳を藉さないことも教師の一言一句には我輩の小さな胸に印象を深くしたと同時に、教師の風采及び擧動音調に至る迄慕はしく思はれたので、自分の成長の後には斯る人になりたいと思つた。所が成長して多少智識が進むに伴れ、我輩の目的も多岐に走り、主なるものよりは寧ろ枝葉の方面に動いて止まざりしが故、今日に到るまで何一つ確實に攫み得なかつたのであるが之は恰度ダーウイン氏の甲蟲に於けるが如く準備なくして餘りに多くを獲んとした過ちで、二兎を追ふ者は一兎を得ずの格言を今更ら想起して自分の愚なるを悔ゆるものである。目的は一つなれ。徒らに慾を大にして多くを一時に攫まんとするは其の結果多く失敗に了らざるを得ぬ。敬愛なる同胞諸君願くば我輩の愚を踏み給はざることを。

勘定を正確にせよ

福 文作

私はカフヱ井耕地に居ります、陳れば私の家には妻の病氣と、フワゼンダの義務仕事に追はれて非常に間作の仕事に手遲れを生じたので、何共致方なく居つた、生憎雇人の不足から世間より呑れ果た極惡人の極怠惰者の雇人を頼んだのである。彼も是には驚易して其儘口中の蟲を吐出し、同時に双手の珍蟲をも放が、夫れが思ひの外に良い、能く働いて呉れた、其御蔭で手遲れの仕事を終了した、何んでも廢物利用と云ふこともあるが、人間も又待遇と使ひ方に依りては善も惡くもなる、世の不可能でどれも、是れも皆未成未完璧へに一寸の蟲も五分の魂あるの説と同一に、伯人と云へども五分の氏の甲蟲採集に失敗したのも全く此魂があるから、外人扱ひに人種を區別して漫りに粗末は出來ないことを兎角少年、否、青年時代は目的の變り易いもので、又其の目的とする所のものも模倣的のものばかりだから精算書を添へ支拂ひ勘定をした所が國を發明したのも其動機は一粒の林檎が木から落ちた事や鐵瓶の湯が蓋を吹き上げた事を注意して見た所に璃が木から落ちた事や鐵瓶の湯が蓋を吹き上げた事を注意して見た所に璃が木から落ちる事や鐵瓶の湯が強い蒸汽を吹き出して居る事などは幾千年來人々の見て居る事であるが然しそれは所謂見流しであつて大した眞理が其中に含まつて居る事は見なかつたのである。斯る意味で我等は自らの不注意からして多くの物を見失つては居らないか？

▲又人と對話する場合に我等はよく相手の云ふ事を聞流しにする事がある。最もそれを聞流しにすると云ふ事は無理もない場合がある。即ち人間は悉くが聖人でないし各々に缺點もあるから御互の云ふ處に悉く價値があると云ふ譯には行かないので、途ひ聞流しにするの止むなき場合も生ずる。然し如何なる人の云ふ事でも能く注意して聞けば其處には多少なりと聞くべき眞理が含まれて居るものである。そして之を見出すと否とは要するに聞く者の態度如何にあるのである。

▲更に新聞雜誌若しくは其他の書籍を讀む場合に於ても同樣に我等は細心の注意を拂ふべきものである。何となればそれらは何れも相當に修養もあり學識もある人々が多年研究苦心の結果を發表するものであれば必ず何等かの眞理を說いて居るに相違ない。我等はそれに依つて大いに智能を啓發されると同時に又不審の點は忌憚なく追及して正否曲直を決定すべきである。

物事に意を止めよ

佐藤其峯

賢明なる同胞諸君に向つて斯の如きことを申すは甚だ禮を失した樣に見えるかも知れないが只頃日我輩の感ずる一端を述べ度いと思ふ。それは我々が何事に依らず物事に對して眞卒すべき態度を缺き物事を深く念頭に止めずして多くは視流し聞流し讀流しにして了ふと云ふ事である。斯る態度は我々の向上發展上甚だ喜ばしからざる現象で是非とも矯正せねばならぬ點である。

▲先づ我々は物事を見る場合によく表面丈けを見流しにする事が多い。之は餘り有觸れた事で世人は氣にも止めないが然し我々は其輕卒な態度に依つてどの位多くの物を損失して居るか知れない。例へばニウトンが天地の間に引力の大法則がある事を見したのも又かのワットが蒸汽機やがては切つても切れぬ關係を結ばうと云ふ目論見のやうに見へる。獨逸の外に佛、英の各商業團は、現今露國及び小露西亞の代表者と商議中である、尙ほ信ぜらるゝ筋よりの報道に依れば、英佛の國工業家等は、極めて有力なる獨逸のクルップ社やウゴスチンネス等と、露國富源開發に活動の爲、一大トラストを計畫して、着々商議の歩を進めてゐると云ふ。この報道はともかく獨逸工業界の、或る責任者等に依つて肯定されてゐる、尙ほ又小露西亞の代表員は或る英國の資本團と、小露西亞の主な海港から外國へ對しての、種々な航路開始を商議中だと傳へられてゐる、英國人等は財政援助の交換として、樣々な特權を得る筈である。又或る佛國の資本團は、露國に於て鑛山發掘權を得やうとしてゐる。と獨逸の主な工業家の一人は、ユナイテッドプレッスの通信員に向つて、各國資本家の露國の工業及び經濟狀態復興の爲の企ては最も好時期に類したる本年に於て、見事に成功するだらうと言明したと云ふ。

獨、佛、英の對露經濟策

獨逸伯林の實業界に於て、目下評論の中心點となつてゐるものは、露國其他の歐洲諸國と、商業にまれ工業にまれ、聯絡復舊と云ふ事である。曩に獨逸が小露西亞と締結した通商條約は、最近に露國との間に締結された通商條約を、同地方まで適用する事になつたの爲、該條約は中止の形になつてゐる、之は獨逸が工業的勢力を以て、前記二國に喰ひ入つて、

カーザ東京
家具商 杉本芳之助
Rua B. de Itapetininga, 29 S. Paulo

民刑商訴訟手續其他一切の法律事項懇切取扱
辯護士 マルチン、フランシスコ、ソブリイニヨ、ジルベルトデアンドラーダ、シルバ
事務所 R. 7 Bento, 12 B Sandar Sala 10

葡語教授
日本人諸君にして葡語を學ばんと欲する人には短期間にて上達する樣良教授法と親切を以て敎へます
授業時間午後六時半より十時まで
希望者は左記へ問合せられたし
授業料 前金
イタジバ、サンチアゴ
Rua Direita, 8-A, 2° andar
Tel. Central, 5765

大工募集廣告
日本の大工大至急募集す
御希望者は左記へ御照會を乞ふ
大正十一年五月
カーザ日本 吉田政之進
Rua Consolação, 42 S. Paulo

Fazenda Leonor
Mogy das Cruzes
E. F. C. B.
確實なる農業者に限り此の
絶好の土地提供
伯國中央線モジ驛より五基米突アルト、ダ、セーラ山脈内絶好なる健康地を一區一アルケール九百五十ミル年賦五ケ年拂五分利子にて賣却す但し即時拂ならば相當の割引す。入植と同時に假登記を爲し本地劵は全額拂込み濟の後讓與す
尙ほ第一期收穫まで食料、農具一切、家畜、果樹、苗、運送馬車に至る迄賣却貸與の御相談に應す
特典 (一アルケールに付薪五六百米突は無償提供
(此價格モジ驛渡し約四コントス)
場所 はモジ驛より一日牛車二回馬車三回往復出來る所なり (第二號電車終點)
取扱人 佐々木守男
Rua Marquez de Abrantes, 4 S. Paulo

中山旅館
コンデ、デ、サルゼーダス街五〇番
中山忠太郎
電話 セントラール 四五五九番

○フトン綿
○フランネル
○反物及び雜貨
○日本品各種
小賣 御
中矢商店
K. NAKAYA
Rua C. de Sarzedas, 69 S. Paulo
最も格安に販賣可仕候

Orvalho de Flor
花の露 印醬油
K. Outa & Cia.
醬油の女王「花の露」は美味且つ滋養に富み衛生的にして經濟なる優等製品に候へば是非御試用被下度尙益々勉强精製致し候間何卒倍舊の御愛顧賜り度伏して願上候
釀造主 太田吉太郎
郵函二〇〇七 聖市コンデ街九一番
特別販賣所 山田隆次
聖市コンデサルセーダス街六五番

○根本權は歸化より生る
零は幾百萬集まつても矢張り零であるが、茲に數を作らんか、一と一とを合すれば二となり、二と二とを合すれば四となり、是が巡て大なる數に達する可能性を有つが如く。歸化も恰度之と同樣に、政治的に零なる在伯日本人に一の數を與へ、茲に伯國人としての根本權を取得せしむるものであるから其利益素より多大である。

歸化申請取扱ひ開始
故に零を排して數に就き、無を避けて有に移らんとするの士は歸化を爲すに若くはない。零か數か、無か有か、若し之を有利有意義に解決の能あらば歸化の効能は自から釋然たるべきである。
◆歸化の申請を望むの士は速かに本社へ申込あれ然らば本社は活版刷の明細書を送呈す。
(但し聖州内二年以上の在住者に限る)
歸化申請取扱所 伯刺西爾時報社

タンカス

ジョアン、リベイロ

カリオカの文藝界に湧き起された堀口大學氏の短歌熱はうの止まる所を知らない「白ゲシヤク」の雄將はまた伯國詩壇の寵兒になつた五月九日のオー、インパルシアル紙の文藝欄に載せてゐる評論が之である。(帆)

茲に私等は氣のきいた、新しい詩集を手にした、作者が自分の勞作に依つて、自分を表現する事は、世の評論の不完全や、觸れない點を凡て校正する事の出來る、權威ある一の式紙付となる。

詩人等は一般に、吾人が下級な篇又はあまり大して意味もないものを選んだ、と泣言を云ふ。と云つてまさか私等は、此限ある欄内に、書物を皆並べるわけにもいかない。

そこで先づ敬意を表して、第一に我國駐劄日本公使館の、詩人外交官堀口大學氏を紹介する。堀口氏はその短歌を佛譯した。この『タンカス』は、日本詩人の感興に諒解を有する（緣も由もない言語の飜譯、と云ふ困難の下にあつて）佛蘭西詩聖ポール、フォートに依つて序文が書かれてゐる。

之等の最小の、小じんまりした、短い詩篇には、感興の刹那が、手際よく捕えられてゐる。凡て皆小さな強い香精である。時にサツと刷いた一刷毛の墨の跡に、大自然の情景が浮ぶ。

初秋の高く澄みたる碧空にボプラは金の噴上を投ぐ

僅か數語に描き出された中に、如何に生命の躍動があるかを見よ

秋の雨ベンチを濡らしあはれにも男女の立ちて話せる

時には又大自然から離れて、俗界の社交場裡の頽敗氣分を叙してゐる

女みな裸體に近く身を裝ふ世紀末とはなりにけらしな

戀や、悲哀やは之等の詩中に、驚くべき程巧みに謠ひこなされて、ついに人の心をひきつける

盡く世のさびしさを集めたるさびしさならんわれの持てるは

君が名とわが名を彫りて眞珠玉かなしき戀のおくつきとせん

私等はこの『タンカス』の平靜な、情味ある、優美さ、以上にどんな言葉を用ふることも無駄だと信ずる。

凡ての現代の日本人の如く、堀口氏は古典及び現代の泰西文化を我ものとし、飛行機や巴里について語る如く、サツフォやバンに就て云ふ。然し私等の國の俗社界の事どもに、日本人としてその國を忘れぬ、心靈の閃がある。

あゝタンゴいとたくみには踊れども余は飽までも、日本人なり

歌は皆愛する兄弟の記念として銘を打たれる、優美纖細な詩である

或日曜の午後

セリニア耕地　小原極西

晴れ渡つた空には浮雲もなかつた日光の暖い惠を受けて、廣い沃野の森の木も、鳥も、獸も皆笑つてゐた日曜日の午後を、幸吉はいつものやうに妹の手を引いて、小聲に讃美歌をうたいながら、枝もたわゝに實のつた珈琲の樹の間を散歩してゐた。

ものういやうな牛の聲が、遠くから聞へてくる。『まあ兄さん珈琲の實が綺麗に色付きましたわネ。』かう云つた妹の頓驚な聲に、半年前の渡伯當時からの事を回想してゐた幸吉は、ハツと吾に返つて輕くうなづいた。

恨めしい程重かつた鍬が輕くなり、たまらないと思つた勞働が樂しみになり、曉の鐘に詩を思ふまでに、自分が耕地に馴れたのだもの、あの當時雪のやうな白い花やがて又堅く青かつた珈琲の實が瑠璃を連ねたやうになるのも當り前だと思つた。二人は樹蔭に腰を下して、ちぎつて來た蜜柑の皮をむいた。どこからともなく吹くそよ風に、妹のほつれ毛が心持ち日にやけたその頰に戯りかゝるのを見た時、かうした日曜半日の散歩を唯一の樂みにして邪念もなく兄に力を合して働いてくれる妹の心根を思つて、たまらない程のいぢらしさを覺えた。

コロニヤの方から風琴の音が流れて來た。

時報歌壇

◇燈火　十四生

凄き程靜けき夜哉燈火の青きほのふはさゆらぎもせず。

莊嚴と悲哀の極み英雄の末路に似たる赤き日沒。

平等の惠みの光り地になげて沈み行く日輪をしばしおろがむ。

紙にしむインクの如く我が靈に悲しき影のさし込みにけり。

小說　奴隷の娘（二一）

ベルナルド・ギマラエス

イサウラの前へ立ち塞がつたのは不意の驚きに大男と見へたものゝ、頭の素適に大きな、胴の短い佝僂の短い脚は外方へ丕つて、熊のやうに毛深い、ひゝのやうに醜い、不恰好な人間と云ふよりは、妖怪であつた恰度中世紀時代の國王や、その宮廷の愚さめ者として、從者の中に缺くべからざるものになつてゐた、不恰好な道化者の再現であつた。皮肉な自然の惡戲で、彼に頸部を造るのを忘れたらしい、そして醜い頭が猛烈に大きな背中のこぶから、ニヨツキリ出てゐる樣は、まあ鳥渡頭巾を後へ背負つた形。然しよくその顏を見れば、滿更さう見捨てたものではなく、利口相な、正直らしい、溫順らしい樣子がホノ見へてゐた。

イサウラが若し初めて此のお化のやうな、佝僂の彼を見たのだつたら氣絕してしまつたに違ひないが、この男は身體の不具に似合はない、正直者と云ふので、隨分長い間この農園で、庭番をしてゐるベルシオルだつたので、彼の女はホツとした。凡ての美しさや、純潔や、纖弱等の自然の象徵の花も、嫌はしい熱も萎られぬ程度に必要のやうに思はれる。然しこの兩者の對照は餘りに甚しいこの家の主人の運だつたか、將又わざとさうして、美しい者のそばへかうした醜い者を置いて一際、美しく見やうと云ふ、飛んだ物好からかも知れない。

ベルシオルは片手に、大きな麥わら帽子を、曳きづるやうに持つて、片手に花束と云ふよりは、自分の醜い姿も隱れてしまう程の、樣々な花の枝を集めて、一とからげにした奴を抱えてゐた。それはこの廣間の、食器棚の上にある、素適もない大きな花瓶に挿す爲のやうに思はれた。

『南無三……まあ何と云ふ事だらう妾の身の上は……一つ免れゝば又一つ……然し他のは妾を責め惱ますんだが、此の男は時々妾を吹き出させるんだから、まあ罪が輕い……』と『イサウラは、庭番を見た時かう思つたが、何氣ない樣子で、

『まあベルシオルさん、何か御用なの……？』

『えゝ、へ、、、、、あのイサウラさま……私は……。』

庭番はオド〳〵してつぶやいた。

『イサウラさま！まあ妾にさまだなんて……貴方まで妾をからかはうとなさるのねえベルシオルさん……？』

寂びしさは小石を投げてぽつねんとその小波に慰む心。

まもぼろしに如何なる君をとゞめんや雨の夜の君月の夜の君。

コドモノセカイ

極樂を見た王樣

五　西條八十

けれども王樣は自分が王である證據の指環が右手の指にはまつてゐる事を想ひだし、顧へる片手でそれを拔きとつて、椅子にかけてゐる王の前にさし出し、

『これを見ればわしがこの國の王だつたことがわかるのぢや。』と叫びました。

新しい王は情ぶかい眼つきでこの老つた王樣の樣子をぢつと眺め、また差しだした指環につく〴〵見入つてゐましたが、やがて家來に云ひつけて御殿のお藏の中からこの國の古い記錄や、代々通用してゐた金銀貨などを持つて來させ、それと指環の繪模樣とを仔細に見くらべました。

しばらくしてから王はやつと合點が行つたやうに王樣の方を向いて、

『老人よ、この模樣のついた指環を持つてゐた王は今から七百年ほど前にこの國の王だつた方ぢや、併しその王は或日突然行方知れずになり、國中どこを尋ねても遂に見あたらずじまひになりました。この古い記錄に書いてある。いつたいお前は何處からこの指環を拾つて來たのぢや？

この言葉を聞いた老つた王樣は、覺えず胸を搔きむしり、聲をあげてその場に泣き伏れました。さうして心の中で、見てはならない極樂の相を無理に眺めた神樣の罰が早くも身に報つたことを覺りました。

王樣はそれなり一言も云はずにお城を立ち出でゝ森の深へと入り、そこで靜かに神に朝夕の祈禱をさゝげまたは有難いお經の本を讀みながらなほ廿五年の歲月を生きのびましたさうしてすつかり昔の罪を洗ひ清めた曉に天の使に迎へられて、ほんたうの極樂往生をされたと云ふ事であります。（終り）

話の種

▼世間一般に賞用されるアグアデコロニアは一七七二年獨逸のコロニアに住んでゐた伊太利化學者ジユアンバプロフエミニス氏が初めて調劑したのである

▼切花を長く萎れさせないのには蒸溜水に木炭の一塊若くは一握りの鹽を入れて挿して置くといゝ

一週一笑

○一度で嫌なら後生だ一度接吻をさしてくれ玉へ

男『……』

女『まあ！嫌な事です……。』

男『それぢやあ何度ならいゝのかねえ……。』

旅館

エスタソン
ソロカバナ前通り
東京館
電話シダーデ一四七六
Rua Mauá, 199
S. Paulo

御菓子

まんぢう、やうかん
せんべい、その他
相變らず御引立を願ひます
村上銀市
Rua C. Sarzedas 71

總日本字本

編者兼發行人　電氣及測量技師　小林弘一郎

最新聖州地圖

縱一尺七寸　橫二尺五寸

實價金四ミルレース（送料共）

▲素より青色寫眞版ですから、標裁に於て美麗とは云ひ得ませんが、實用に於ては彩色版に優るも劣る所がありません、何卒一葉御購求を願ひます。

◆便宜の爲め「伯剌西爾時報社營業部」内に取扱所を置きましたから御入用の方は代金を添へ左へ御申込あらば直ちに御送附申上ます。

伯剌西爾時報社（NOTICIAS DO BRASIL Caixa Postal, H S. Paulo）

實價にて同胞諸君に提供

▲諸君が農業地を選定、州内及隣州旅行、自己の事業地を鄕里へ報道等の上に必要なる地圖を、諸君の需要に應じ總日本文字を以て作つて見ました。

▲此の地圖は携帶用の便と、値段の廉と、長期の使用とに重きを措き、中形の青寫眞應用地圖とし紙質を撰べると共に内容に最新の材料を採り收めました。

▲特に此の地圖には日本人の集合地、乃至殖民地の所在及州政府調査に係る其土地〳〵に適當なる耕作產物を示し、農業及視察者の便に供しました。

中將湯　實母散（產前、產後、血の道一切）

元服湯　フラン湯

五龍圓　熱病妙藥
セメエン　虫下シ
健胃固腸丸
太田胃散。胃活
ロート。大學。目藥

上等鰹節

土佐鋸　大工鋸
庖丁類其他各種
種子物各種
月刊雜誌
書籍各種
農產物委託販賣
日本金高價買入
並に日本への送金取扱

直輸入商
瀨木商店
Y. SEGUI
Caixa, 1771　S. Paulo

珈琲好適地

取扱所

ノロエステ線アラサツーバに於て珈琲栽培最好適地を大小地區一時拂ひ或は濟し崩し拂にて賣却します希望者は左記へ

アラサツーバ
ウンベルト、ベルガマシイ
聖市
エンプレサ、パウリスタ、デコロニザツソン、リミターダ
Rua da Boa Vista N. 27 S. Paulo

日本近信

●つらき別れの御握手
兩殿下御袂別の光景
◇盡きぬ名殘りの御用邸◇

櫻咲く國の皇子が薇薔の國の皇子を東京驛に自ら御出迎ひ遊ばされたのも昨日と過ぎ早お別れの日迫り折柄の雨も風情して日英兩皇儲の

▲御訣別の一時は殊に其の御情緒の細やかさを思はせた、四月廿五日午後宮の下富士屋ホテルにてテニスを遊ばされた英國皇儲殿下には脊廣服にレーンコート、鳥打帽と云ふ御輕裝で同ホテルの印番傘をさゝれ

▲ハルセー大夫、ウッドロフ少將以下隨員十名を隨へさせられ宮の下御用邸裏門から御訪問あれば攝政宮、東伏見宮、珍田伯、松平子、山本海軍大佐、土屋侍從其他御出迎へ申され攝政宮のみの御誘引で日本館十二疊の

▲御座所に入らせられた其所の床には御別れに適はしい雁の軸に僅に櫻と薇薔とが生てある極めて清楚な御間である、兩殿下には御着席後互に御自國語での御挨拶を山本大佐とデビソン氏が御通譯申上げた

攝政宮『態々御出で下さつて厚く御禮を申上げます』

英皇儲『お別れに參りました、まう長らく御目に懸れないので非常にお名殘り惜しく思ひます、到着以來日本皇室と國民の熱誠な歡迎に對しては感謝の言葉もありませぬ、昨年はあなたが御訪英下され今又私が御國を訪問した事は必ずや日英國交の上に得る所があると確信して居ります』

攝政宮『それは私も御同樣に確信して居ります』

英皇儲『兩陛下に宜敷く御傳へを願ひます』

攝政宮『御歸國なさいましたら兩陛下を始め各宮方へ宜敷くお傳へを願ひます、そして是から御ゆつくり各地を御巡覽下さい』

英皇儲『今迄もでしたが是からも各所で熱誠なる歡迎を受ける事を心から感謝して居ります』

東京電報、北米通信（五月十日）

◆陛下東京御還幸

皇帝陛下は五月十日輕井澤驛より東京に御還幸遊ばされた

◆日銀兌換券增加

日本銀行兌換券の發行高は十二億三百萬圓となり其民間貸出高は三億三百萬圓に增加し兌換券發行餘力は一億二千萬圓を減少した

◆臺灣砂糖官營實施

臺灣砂糖の官營は愈々實施の取運びとなつたが一部新聞は是を以て選擧費用を得る一手段だと云つて居る

◆帝蠶毎月賣出高

帝國蠶糸會社の特荷は二百二十萬斤にして毎月二十萬斤宛を時價にて賣出しをなす事に決定した

◆佐渡鑛山同盟罷業

三菱鑛業株式會社經營の佐渡鑛山の勞働者は賃金値上げを要求してストライキを開始した

◆四月現在正貨總額

四月二十九日現在の正貨總額は十八億九千八百萬圓となり十五日に比較し尚ほ二千二百萬圓の減少である

島津公の磯御殿にて午餐を饗され九日午後御乘艦レナウン號に御搭乘マニラに向け日本を御辭去相成た皇儲殿下には鹿兒島御出發に際して

▲兩陛下及び攝政宮に對し感謝の電報を送られたと共に全日本國民に向つて鄭重なる告辭を發せられた

●世界第一の大鐵橋

▼川崎造船所での見積書

濠洲ニューサウスウェールス政廳から過日神戸川崎造船所にその見積り方を照會して來たシドニー灣口のミルソン岬からダヴイス岬へ架渡す大鐵橋は全長一哩幅百呎で廣軌鐵道四線、電車二線、自働車道一線、車馬道、人道各二線づゝを敷き高さは現在世界のいかなる最大巨艦も平氣でその下を通過することが出來るといふすばらしいものである、川崎造船所で若しこの大工事を請負ふことゝなれば我國工業界の大名譽だとて大いに見積りを急いで居るが廢艦材料の消化と閑散な海運界の狀勢から見てこれは見逃すことの出來ない一大福音であらう

●夕張大火　四百戶燒失

四月十三日午後七時半夕張本町四丁目神田館から出火、四階建のことゝて折柄の强風に火は忽ち四方に燃え擴り右は水花病院北海タイムス支局を燒き町役場及び助役住宅を除き鐵道線路まで延燒し一方は四丁目から鹿の谷方面に延燒し五丁目附近一帶を燒土と化せしめ全燒戶數四百五戶を出して午前四時鎭火した、損害は約七十萬圓に上る見込である、學校警察署等は無事だつたので罹災民は悉く小學校に收容した、原因は辯士部屋に於ける爐の不始末からであると尙ほ被害地電信電話等不通となつたが十四日中には開通の見込である

●平和博の大雨漏

夜來の雨が四月十四日の朝のどしや降りとなつたので平和博では吉例の雨漏が數十箇所で殆ど各館全部ヅブ濡れといふ始末中にも酷いのは第一會場染色館松屋出品の人形七八個分の衣裳が滅茶々々～建築館では大阪の田村出品の二千圓の金屏風が濡れ臺灣館では例の呼物の砂糖の塔がダラ～と流れ落つる始末に同夜の夜間開場は見合せとなつた

◆生徒一千餘名が

三高校長を排斥

問題となつてゐた金子三高校長排斥は更に卒業生に依つて其氣勢を昂めてゐたが其が在學生に飛び火し廿三日午後一時一千餘名の學生は校庭に集合し一般投票に依り『金子校長を信任しない』と滿場一致で決議した

●關東一帶を驚かした
四月下旬の大地震
◇震源地は浦賀水道？

四月廿六日關東一帶に亘る稀有の大地震に就ては既に當時本紙外電欄中に一報した所であるが今故國より細しい報道に接したので此處に之を轉載する事とした

▲當時の地震につき帝大地震學教室では大森博士から中央氣象臺では中村博士から夫々その調査觀察を發表したが震源地に就て前者は浦賀水道と認め後者は千葉市の附近と認め其他にも多少相違がある

▲今東京市內の被害を見るに宮城內吹上御苑外廓乾門から麴町區五番町寄の塀約百五間崩壞し其他大した被害はないが宮城內の瓦落ち壁に龜裂を生じ或は剝落した所がある又震ケ關東宮御所は外務省寄の

▲壁が約十間崩壞葉山御用邸と宮內省との電話不通となり平和博覽會內化學工業館、農業館、食糧館、北海道館、水產館、其他陳列棚悉く倒れ整理のため一時入場を中止した麴町區有樂町一の三日比谷ビルヂングの建築物は幾分傾斜した尙此程

▲全燒した帝國ホテルの燒跡に立つて居た煉瓦造りの煙筒六本中二本は大音響と共に倒壞し午前十時二十分頃中野驛構內東方十間餘の鐵道電話線が震動のために高壓線にかゝつて

▲電信電話の被害夥しく遞信省の調査によると東京市內電話機の故障個數は合計約二千個で市外の部は合計五十一回線不通となる又電信被害は市外線合計五十三回線である

▲鐵道の被害は東京驛の基準電氣時計が一齊に停止し震源地と見なされて居る北條線木更津驛以南の鐵道沿線は被害が多く最も甚だしいのは大貫驛構內の側線屈曲して上總湊驛の入口世入川の堤防一尺低下したので三十尺の橋臺は同じく一尺低下し同驛構內の線路は滅茶々々に屈曲し北條驛構內も線路が一尺低下した

●漁夫四十餘名溺死

▲若狹沿岸の暴風被害

福井縣大飯郡高濱町發動機漁船八幡丸は十七日午後同町漁船四人乘六隻同郡和田村の漁船二人乘八隻を率ゐ高濱沖合に出漁中暴風に遭ひ漁船全部と乘組漁夫四十一名行方不明となつたが十八日早朝來難破船の破片が沿岸に漂着してゐるから恐らく全部溺死したものと思はれる、尙當日三方郡北西鄕村字日向の漁夫阪谷爲吉（七）森下堤太郎（四十）知場久造（三十六）の三名も日向沖合に出漁中難破溺死しその他常神沖合でも漁夫十數名遭難したらしいので引續き捜中

●汽車時間畧表

◆バウリスタ線（聖市發）

○五時三〇分　サンカーロス止り）
○七時四二分　バレットス行き…プラ、クラ線へ連絡…バウルー方面…ドウラデンセ線へ連絡）
○九時二五分　サンカーロス行き…バウル方面）
○一七時　（バレットス行き…水、金、日曜はイチラピーナにて乘替へバウルーに六時一七分着直ちにノロエステ線に連絡し得）

◆モジアナ線

○五時三〇分　（リベロン行き）
○七時　（カザブランカ止り）
○一九時一〇分　（リベロンを經てウベラバへ）

◆ソロカバナ線（バウルー及サルトグランデ）

○六時一三分　（一方面行き）
○一八時一八分　（ラランデ經由インデアナ方面（連絡）
○二〇時五分　（月、水、土曜の三回バウルー行き）

◆サントス…サンパウロ間

サンパウロ發　サントス着
時分　時分
五四日、祭　八〇七
六〇〇　八〇〇
六三〇　八三〇
七四五日、祭　九四〇
八〇〇　一〇〇
八三〇　一〇三〇
一〇〇〇　一二〇〇
一〇三〇　一二三〇
一四〇〇　一六〇〇
一四三〇　一六三〇
一六〇〇　一八〇〇
一六三〇　一八三〇
一八〇〇　二〇〇〇
一八三〇　二〇三〇
一九〇〇　二一〇〇
一九三〇　二一三〇
二〇〇〇　二二〇〇
二〇三〇　二二三〇
□は五六七月間土曜のみ

サントス發　サンパウロ着
時分　時分
六〇〇　八〇七
六三〇　八三〇
七〇〇　九四〇
七三〇日、祭　一〇〇
八〇〇　一〇三〇
八三〇　一二〇〇
九四〇　一二三〇
一〇〇〇　一四〇〇
一〇三〇　一四三〇
一二〇〇　一六〇〇
一二三〇　一六三〇
一四〇〇　一八〇〇
一四三〇　一八三〇
一六〇〇　二〇〇〇
一六三〇　二〇三〇
一八〇〇　二二〇〇
一八三〇　二二三〇
一九〇〇　二四〇〇
一九三〇　二四三〇
二〇〇〇　二六〇〇
二〇三〇　二六三〇
二二〇〇　二八〇〇
二二三〇　二八三〇
二四〇〇日、祭　二三〇
二四三〇　二三三〇

◆サントス…ジユキヤ線

サントス發　ジユキヤ着
○九時三〇分（月曜）
○同（水曜）
○一六時
一週月水曜の二回なり

ジユキヤ發　サントス着
○七時（火曜）
○同（木曜）
○一三時三〇分
一週火、木曜の二回なり

◆セントラール線

リオ着　リオ發
時分　時分
一八〇〇　七〇〇
一八三〇　七三〇
一九〇〇　八〇〇
一九三〇　八三〇
二〇〇〇　九〇〇
二〇三〇　九三〇

サンパウロ發　サンパウロ着
時分　時分
六〇〇　九〇〇
六三〇　九三〇
九〇〇　一二〇〇
九三〇　一二三〇
一〇〇〇　一四〇〇
一〇三〇　一四三〇
一二〇〇　一六〇〇
一二三〇　一六三〇
一四〇〇　一八〇〇
一四三〇　一八三〇
一六〇〇　二〇〇〇
一六三〇　二〇三〇
一八〇〇　二二〇〇
一八三〇　二二三〇
一九〇〇　二四〇〇
一九三〇　二四三〇
二〇〇〇　二六〇〇
二〇三〇　二六三〇
二二〇〇　二八〇〇
二二三〇　二八三〇
二四〇〇日、祭　二三〇
二四三〇　二三三〇

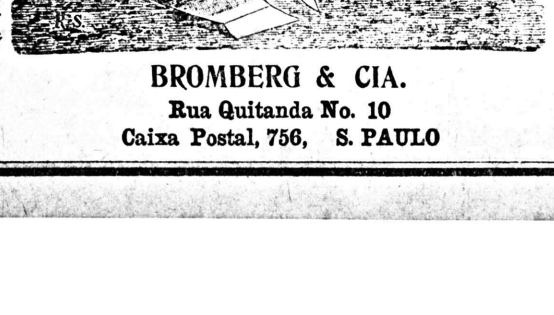
◆日本人に對する法律事件の相談

辯護士　ジョアキン、デルフイノ、リベーロ、ダ、ルース
事務所　聖市ロンデ街十四號室
Dr. J. Delfino Ribeiro da Luz
L. da Sé, 3, 3°. andar Sala, 14 S. Paulo

測量の依頼に應す
小林弘一郎
Caixa Postal, 9 Catanduva

聖市コンデ街五十三
電話セントラル五八一九
廣島屋旅館
Rua Conde de Sarzedas, 53
Telephone Contral, 5819

旅館
和洋御料理一切
ポニータ街一一番
上地彌藏
郵函　一二二五
電話セントラル　五七〇一



聖市キタンダ街十番
プロンベルグ會社
BROMBERG & CIA.
Rua Quitanda No. 10
Caixa Postal, 756, S. PAULO

獨逸製並米國製アラード及附屬品、犂、製粉機、穀皮離脫機、其他一切の農具並石油發動機、牛馬牽引發動機等安價にて堅牢なる品多量到着致候間御用命伏して希上候
尙詳細は左記へ御照會被下度日本文ならば時報社宛に願上候

優良なる農具及工具用及物一切の御注文は本工場に願上候
H印鐵工場
平田初太郎
Caixa Postal, P. P. SANTOS
エスタソン、ジユキーア際

GARAGE MIKADO
Torpedinho Overland
40 Telephone Cidade 40
Estacionamento de Av. São João, 140
A hora na Cidade 8$000

●●●●貸自動車業
北米製最新式
開放自動車
市內一時間八ミル
電話シダーデ四〇
アベニーダ
サンジヨアン
一四〇
林岩松
龜井干男

●大審院の判決で外國人でも出來る葡語教授

◇聖州教育法は憲法違反◇

伯國に居住する事既に廿八年、一八九七年以來聖州はペペドウロに住ひ同地に於て選擧人たる權利も有する伊太利人の、ジョゼ、トニオリ老教授は、去る一月末に第十四地方學務局から、その經營する小學校の開校を認可されたが

▲三月廿六日付で八日間の中に、葡語、伯國の地理歴史教授を、伯國出生の伯國人に委ねざれば閉鎖を命ずと總學務局からの指令を、其儘にして置いたので、更に四月二十日付で授業停止を命ぜられた。之は聖州改正教育法第十六章私立學校規定中、第四百四十八條第二項Cに、葡語の教授は伯國出生の伯人、又は葡國出生の葡人に限り、伯國地理歴史は伯國出生の伯人教師に依りてのみ教授さるべき旨の規定を適用されたのである、然しトニオリ氏は其を大いに不服として、總學務局へ談判したが何等の効もなかつたので、州裁判所へ持ち出して權利保證を願出でたが、之も却下となつたので躍起となり、辯護士ピセンテラオ博士に依頼して大審院に擔ぎ込んだ所が

▲大審院では、伯國聯邦憲法及び聖州憲法が、内外人同樣無差別に、如何なる職業をも認めて居るのに關せず、又歸化伯人は出生伯人と殆ど同樣の權利を有し、教育法制定に參與し得る上下院議員にもなり得るのに、私立學校で葡語を教へる事が出來ない、然るに外國人たる葡國生れの葡人は

▲歸化伯人の能は權利を有すと云ふこんな、矛盾した差別待遇は以ての外、憲法違反たる事は一點の疑ひもない。と云ふ說が勝を占め、陪席判事八名の贊成者に對し、反對意見は僅に三名と云ふので、遂に聖州教育令は憲法違反だ、と判決が先週の水曜日に下つたので、之からは歸化人でも外國人でも、誰でも葡語及び伯國地理歴史を、私立學校で天下晴れて敎へられる事になつた

▲蔵蛇の體ですつかり男を落した聖州では、すつかりべそをかいたが、宇官報バウリスタノ紙は、一九一九年以來三年間無難で施行した教育法に基いて、改正を加へたとはいで、眞實の葡語を正確に教へたいから、かうした規定を設けたのだ、そしてこの州法全部が憲法違反と判決されたのではなく、單にこの葡語教授に關してのみがさう判決されたのだと負惜しみの不徹底な泣言を云つてゐる

●白國大使來聖

伯國駐劄白國大使フアロン男爵は七日聖市を公式訪問の爲來聖顯官連に迎へられ政府差し廻しの自働車で一隊の鎗騎兵の儀仗兵に護衛されロチセリイホテルへ向つた同大使は八日ブタンタン研究所參觀夜は州統領官邸に晩餐會に臨席九日グアタバラ耕地へ視察旅行多分來週月曜歸聖サントスへ向ひ同市視察の上火曜若くは水曜日リオへ歸る豫定だと

●ニロ氏は駐葡大使

スター通信の報に依るとニロ、ペッサニア氏は近く葡國駐劄伯國大使に任命せらるべしと

●總領事の歸聖は十日か十一日

サンタカタリナ州の堅實な獨逸人の發展振や諸工業の活躍盛なのに感心させられた總領事一行は去一日バラナ州に入りクリチバ市着二三日同市滯在の上バラナグワ、アントニーナ地方を視察再びクリチバ市に戻つて聖市歸着は十日か十一日の豫定だと

●星野錫氏來聖

◇目的はミナスの特許遂行

既報の通り『伯國企業準備組合』を代表して大正九年七月水野龍氏がミナス州政府から獲たる特許遂行旁々伯國の産業視察の爲め遙々渡來された十一日代用機を以て飛行繼續の爲サンパウロ岩に向ひ再び動力故障で洋列車の豫定なるも今息は尙ほ後に殘つてバラナ州をも視察して見たいとのことである

●英國産家畜禁輸

農務大臣は畜産局長の議を容れ目下英國畜産界に鵝口瘡熱蔓延してゐる云ふので國内家畜擁護の爲全國に向つて英國より家畜輸入の禁止令を發せんと目下研究中

●竹澤代議士來伯

百年祭記念博の日本館建築に付ては去月下旬日本より廿四名の職工リオに到着三百坪の敷地に着々土臺据付中だとの事なるが博覽會主任の竹澤代議士も來る十五日にリオ着の筈だと云へば愈是からがほんものである

●家畜共進會

來る九月七日から聖市に開催される家畜共進會の出陳申込受付期間は本月二十日から八月二十日まで手續詳細はコンソラツソン街十八番畜産局へ照合すべし

●移民補充難と農會

内地珈琲園就働移民不定の聲は日に高まり當事者もその補充難に困り果てゝゐるが眞實にどの位の數の移民が要求されつゝあるのか具體的に知る爲に伯國農業聯合會では聖州は勿論パラナ、ミナス諸州に於ても珈琲生産地方の各郡長及び同聯合會支部に宛移民就働地の珈琲樹數及び移民未就働地の珈琲樹數を八日以内に廻答され度旨夫々同文照會を發した

●葡國飛行家遂に太西洋横斷飛行成功

去る三月三十日リスボアを出發水上飛行機ルシタニア號でリオまで太西洋横斷飛行を企てた葡國飛行家サカヅラカブラル及びガゴコウチニョの兩氏は四月十八日サンパウロ岩附近で機に故障が起き沈没してしまつたので政府に乞ひ、フエルナンドノロニャにて代用機の送附を待ち五月十一日代用機を以て飛行繼續の爲サンパウロ岩に向ひ再び動力故障で洋上着水の已むなきに至つた旨は其都度報道の通りだが兩飛行士は更に代用機を乞ひ葡政府もフエリー式十七號を送つたので去る六日午前七時四十五分フエルナンドデノロニャ出發正午を過ぐる十五分無事レシフエへ到着漸々念が屆いて目出度太西洋横斷に成功した兩飛行士はレシイフエ上陸と共に熱狂的大歡迎を受けたサンパウロでは兩士歡迎費用として集まつた寄附金四十五コントスに上つた又兩士は天候次第でバイアを經てリオへ飛び豫定航程を完了する筈である

●轉耕季節に近いて甘い口車の御用心

福岡縣人中村留太郎(三〇)と云ふ男サンジョアン祭の風船玉にしたらさぞよく飛ぶだらうと思はれる程特別念入にお尻が輕く生れた所へ無くもがなの小才が廻り鳥渡は葡語も話せると云ふのでいゝ氣になり嘘八百を丸めて口車を曳廻しての世渡は珈琲の實をむしるより樂だとばかり好い氣になり諸々方々を渡鳥の先頭もリベロンブレートで或る寫眞屋の小僧に化けて見たものゝレンズばかりは覗いてゐてもボロイ汁は吸へないと飛び出しノロエステ線プレシデンテペンナ驛のさる耕地へもぐり込みの藝當エンプレテーロ的の仕事に手を出し得意の口車に耕主を乘せてしまい油斷の隙に大迷惑を蒙らしてドロンと消え近頃は又もリベロンに舞ひ戻り日本人定宿『ペンソンセントラル』に巣を構へ田舍出の客を喰へ込んでビンガで醉つ拂らはせ出鱈目の口車で曳き廻して煙に卷いた上所持の金品を捲き上げる事安達ケ原の鬼婆も三舍を避けると云ふ又目の寄る所に玉が寄つて殺人犯と云ふ肩書を持つて近頃某耕地から逃亡して來た福田某の妻とグルになり内外人の手前なんぞ斟酌せず言語道斷の醜行に獸のやうな破廉恥漢とてリベロン在留民から蛇蝎視される位平氣の助で盛に惡智慧を廻してゐると云へば同地へ出入する者は御用心々々々

●高岡醫師リオ行き

醫術開業試驗を受くる爲めリオ行き準備の矢先き山縣夫人病氣來診を乞ふとの電報山縣勇三郎氏より到來したので高岡醫師は去る五日大急ぎでリオへ赴かれたが歸宅の時日は未ば明瞭ならざれば追て報道する

●江越氏病氣

本多先生の案内にて内地巡廻中病を得て歸へれる江越技師は廿九日急に發熱マレータと診斷され其の後自宅引籠り療養中なり

●渡邊夫人披露會

去る四日夜上地旅館に男子連を招待してヨチ子新夫人の披露を爲したる渡邊孝氏は七日午後二時日本倶樂部で夫人の名を以て婦人連十餘名を招待し披露の宴を張れりと

●運動界●

▲第三回對米人團野球戰　去三日日曜日のミカド對ラッパ野球戰は二〇對四でミカドの勝

明後十一日(日曜)午前九時から北米人との第三回戰を例のコンデ坂下の野球場で行ふ筈

日本人側のメンバーは次の如くなり

投捕遊一二三右中左補

笹西齋佐阿田河杉神長河土

原郷藤藤部中上野田谷川田井

(龍)(ラ)(弟)(同)(ラ)(同)

又明十日土曜ミカド倶樂部茶話例會を催す由

●賄方至急入用　本社小人數の食事賄方として獨身の男子一名至急入用に付志望の方は本社へ申込あれ。夜學校へ通學の便あり手當は面談の上

沖縄縣島尻郡玉城村字富名腰

尋人　大城福昌

大正七年渡伯

同氏の住所を御存知の方は左記まで御通知被下度候

大城蒲助

Oshiro Camasko

Est. P. Penna

L. Noroste

◆土地◆

シヤアベ、ビエイラ(Chave Vieira)のTabatinga及びIbitinga間に於ける珈琲及雜穀耕作最適の土地(Terra roxa)のロツテ賣をなす、希望者は前記Chave Vieiraに於けるClemente Botelho氏に照合せられたし

◆米作及び白糖製造◆

蒼々たる處女林と新式廣大なる工場を提供して有利なる條件の下に勤勉なる日本人諸君の入耕を希望す

サントスより一時間半にて達するモツキ耕地

事務所　サントス、ドンペードロ、セグンド街十三番

紹介人　與那嶺仁五郎

J. Yonamine

Rua General Camara, 128 SANTOS

御禮廣告

故勤六等出口峰一郎儀葬送の際は御多忙中遠路御會葬被下且つ御香奠生花等を賜はり御厚志難有奉感謝候早速拜趨御禮可申上筈の處取込中尊名伺ひ洩れもあらんかと存じ乍略儀以紙上厚く御禮申上候

大正十一年五月三十日

リオ、デ、ジヤネイロ市

在日本　妻　出口マリエタ

父　出口吉次

親族　一同

店員　一同

二女雅子永々病氣の處養生相叶はず去る二日午前七時卅分死去仕候に付同日午後四時卅分市内アラツサ墓地へ埋葬仕候間此段謹告仕候尙當日遠路態々御會葬被下候諸彦へ一々拜顏御禮可申述の處略儀紙上を以て御禮申上候

六月九日

父　石原桂造

母　同　春枝

親族一同

尋人

香川縣綾歌郡林田村

新開傳一郎

右之者現住所御存知の人又は御本人何卒御一報被下度願上候

バウリスタ線コレゴリコ驛

アニユーマス農場

◆貸畑◆

一部は果樹其他の部分はアンゴラ草マンジオカ、薯及び甘蔗を見事に植付濟の畑貸したし電燈水道附の住宅勞働者或は自動車々庫用の家あり詳細は左記へ照合ありたし

Rua Vergueiro 262, São Paulo

Bonde 39.

9 de Junho de 1922 No. 244

Noticias do Brazil

大正十一年六月九日　金曜日　第二百四十四號

大石内藏之助

七十二

半井桃水

『お塲所柄を辨へられて、お手向ひ遊ばされず、神妙との御沙汰によつて、お家に疵は付きませぬが、卑怯との批判に對し、如何遊ばされまする、此の儀伺ひたう存じます』

『手向ひせぬは殿中ゆゑ、決して卑怯の爲めではないぞ』

『然らば卑怯でないと申す、證明を立させられますやう、兵部お願ひ申上げます』

『證明を立い、如何致せば好いと思ふか』

『今日に至りましては、外に御思案もあるまいかと、恐れながら存じます』

『卑怯でないといふ證明、立かたがあると申すか、ハテ難かしいのう』

『至つて容易い儀と存じます』

『立られるなら立て置きたい、假りにも卑怯といはれては、此方の名折れに相成る、してその手段は』

『お塲所がらを憚つて、手向ひは致さなんだが、少しも卑怯でない證據は是れ此の通りと御意なされて、お腹召すばかりの事、さすればお家も立ち、武士たるもの丶意地も立ち、天晴のお心掛けと、一旦嘲りました者も、我を折る事と存じます』と憚る色もなく述立てた。

上野介は愕然として、

『ヤ、、汝や此の上野介に、腹切れと申すのか』

『御意の通りに御座ります』

『は、は、馬鹿な事を、身に寸分の過失もなく、上より御賞詞を蒙りながら、何の爲めに腹を切るのぢや、慰みに捨てる命は、上野介持つて居らぬワ』

『卑怯未練との謗を受けても、お厭ひ遊ばされませぬか』

『お塲所がらを憚り、手向ひを致さぬのは、作法を心得居ればこそ、決して卑怯の所業でない、夫を兎や角申すのは、申す者の心得違ひ、勝手に言はして置けば好いのぢや、區々たる世評を憚つて、大事の命が失はれうか、呆痴たことを申すまいぞ』

『唯今兵部申上げました儀を、呆痴た事と聞かせられまするか、身に寸分の過失もないと、立派に仰せられますれど、内匠頭殿、五萬三千石の家を捨て身を捨て、殿中も厭はず、刃傷に及ばれまするには、好く好く忍び難き、お恨みがあつての事と、誰しも推察致しまする、尺かに承はりますれば、御當家に對し、恨みを構へられまするは、内匠頭殿ばかりでなく、凡そ御馳走番仰付けられ、御當家お勤め合になられました向は何れも深い恨みを含まれ、若し内匠頭殿、此の度の擧に出られぬまでもいつかは必ず斯樣な事がなうては、濟まぬと申す噂、さすれば恨みの根本も、矢張り御當家に在る事と、恐れながら存じまする、既に御當家にはお咎めもなく、近日御隱居の儀、お願ひ立に相成れば、お聞屆けも勿論の儀、今若し卑怯の汚名をだに、お雪ぎ下し置かれませうなら、吉良のお家は萬々歳、隨つて上杉家も、お肩身廣く思召されます』

『此の儘存命致す時は、家に瑕でも付くと申すか』

『卑怯の汚名を取らせられ、御存命に御座りましては、吉良家御瑕瑾は申すまでもなく、上杉家に於せられましても、御近親のお間がら、何程か口惜しい事に思召されます、佐兵衛樣のおん爲め、我君のおん爲め、我君のおん爲め、今日御處決遊ばされまするが、至極の御慈愛、此の儀只管願ひ上げ奉ると』兵部は熱烈に說くのであつた。

『其の方彈正大弼が家來なら、上野介が家來も同樣、然るを何ぢや、主に向つて腹切れの、命捨いのと、餘りといへば慮外の言葉、誰かある、兵部奴をぼつ立い』と狂氣の如く罵しつた。

『主君同樣に心得まするゆゑ、兵部赤誠をもつて、斯樣にお諫め申上げます』

『下れ〳〵響後目通りは相叶ぬぞ』

上野介は激しく怒つた、而して彈正大弼に使を立て、千阪兵部の無禮を責めたが、十五萬石の士民擧つて推服する國家の柱石、如何に實父を憚つても、斷乎たる處置は出來ず、僅かに敬して遠ざける爲め、事に藉口て本國へ、千阪兵部を追還した。

兵部は上野介の頭冥不靈を、怒りもし、憐みもし、飄然國へ引取つたが、己れ上杉家へ在らん限り、赤穗浪士をして、上野介の白髮首、討取らせる事もあつては、此の上の恥辱と思ひ、今度は竊に上府して、切に主君へ說き勸め、數多の間者を放ちやつて、内藏之助が一擧一動、細かに探らせる事とした。

* * *

淺野内匠頭が殿中で、吉良上野介に刃傷に及び、切腹の上城地召上げとなつた後、世の中の評判は、なか〳〵喧しい事であつた。

大石内藏之助といふ士は、山鹿素行の門に遊んで、深く軍學を修め、文は伊藤仁齋に、武は奥村權左衞門に學び、何れも蘊奥を極めて居る、其の上智勇兼備にして、天性の人傑此の英雄を首領と仰ぐ、淺野家の舊臣ども、空しく城地を明け渡して、離散する事はあるまいと、目をそばだてたに拘らず、易々城を明け渡したので、さては吉良家へ討入つて、上野介の首を取り、亡君内匠頭が、修羅の妄執を晴すであらうと、とり〳〵に噂した。

此の評判を聞く毎に、江戸在住の面々は、焦立てられるやうな氣がする、彼れは淺野家の家來であらう何をぐづ〳〵して居るか、世間では此の通り、讐討を待受けるのにと、行違ふ人々まで、さゝやくかと思はれて、何となく氣が焦る、夫ゆゑ堀部安兵衞、高田郡兵衞、奥田孫太夫等最も過激な連中は、屢々内藏之助に書面を送つて、討入決行を促した。

内藏之助は夫に對し、能ふ限り事理を盡して、鎭撫策を講じたが、世間の評判はいやが上にも、過激黨の心をそゝり、機會さへあれば、成敗を餘所にしても、發動しさうな模樣があるので、是には頗る心を痛め、内藏之助は十一月初め、江戸の景況視察かたゝ〳〵、過激黨鎭撫の爲め内匠頭の墓參と稱して、江戸表へ出發した。

日野家用人池田久右衞門と變名して、例の瀨尾孫左衞門と幸七を從へ上下三人の質素な旅、況して此の節までは、上杉家からの間者も、京へ到着して居らぬので、案外氣安い道中の、泊り〳〵も怪しむ者なく、十日餘りで江戸へ着いた。

内藏之助上府と聞いて、第一に驅付けたのは、堀部安兵衞、奥田孫太夫の兩人である。

『先づ何事はさて置き、承はり申したいは、大事擧行の日限、凡そ何時ごろの、お見込みに御座りまするか』と安兵衞は座を進めた。

『何月何日までに事を擧げねば、機を失ふといふでも御座らぬ、時の到るを待つた上、決行致す所存で御座る』と内藏之助は飽までも、沈着の態度を示す。

◆女は更に涙をたゝえながら『ヱ、は訊ねました。

妹は父母の下に育ち、今は廣島の百萬長者へ嫁して幸福に暮して居ります。それに私は蓬の上から里子にやられまして、――』彼女は再緣三緣その度ごとに不幸にも夫の家を追はれて今はいよ〳〵奉公でもしやうかと考へてゐた所ださうでした。其處で私は語をあらためて言つたのです『丑の三碧は貴女ばかりではない。貴女の妹さんもさうです。生れ月日から時刻までも一時間も違つては居りません。そしてお二人の間に運命の神が大きな相違を置いたのです。其處で貴女は丑の三碧だから自分は不幸であるといふ樣な迷信は、捨てなければなりません』

◆婦人はそれを聞くと暫く默つて考へ込んで居りました。私は最後に『貴女は鄕里へお歸りなさい。そして翌年の春の結婚をお待ちなさい』と含めるやうに言つて歸しました。

彼の婦人の父は四國の△△市の市長の役にある程の身分でした。此の婦人なども根據のない迷妄に囚つて、自分自身を不幸にしてゐる一人です若しも人の生れ年月日で人間の運命なるものが絶對に宿命づけられるものであるならば、前述の双生兒の各異る運命を如何に判斷したらよいのでせうか。頭腦の古い九星家や干支家などは右の辯明に對して一言の辭もなからうと思ひます。

◆實際、人が年月日で運が極れば、奈翁や秀吉が十人も百人もあつて良い筈なのです。と言ふと九星家は、兩親の年齡が異るから其れは違ふと言ふのでせう。それなら右のやうな双生兒の場合は何うか、此れまでは何とも申されまい。年齡とか性格とか云ふやうな共通點なり連絡なりがあつて、それに依つて區劃することが出來れば小學校の先生も教育法に隨分と樂であらうが、さうはなりません。然るに干支九星の迷信は現在滔々として世に行はれて居ります。

――それは一體どれ程の確實な根據をもつてゐるものでせうか、是からそれに就いて少しく述べませう

婦人欄

●占は何の程度まで信用が出來るか（一）

白眼學人

◇根據のない迷妄

或る時私のもとへ、何かの婦人雜誌で見たとか言つて鑑定を求めに來た一人の婦人がありました

◆私は求めに應じて鑑定することに致しました。『貴女は兩親がありながら他人の手に育ち弟妹がありながらも斷ち生涯を孤獨で暮さねばなりませんでした』と、私はその婦人に申しました。婦人は涙ぐんで答へました。『先生、其通りで御座います幸な目に逢つてばかり居ります……』それからまた私は言ひました。『貴女は双生兒ではありませんか』すると婦人は『ヱ、……何うして夫私は丑の三碧で、何處へいつても不……』それからまた私は言ひました。

『そして其一人は貴女とは違つて立派な生活をしては居ませんか』と私は驚きの眼を視張つて言ひました。

OSAKA SHOSEN KAISHA

大阪商船會社着發廣告

●パナマ丸
北米パナマ經由　サントス發七月四日
横濱、神戸行き　リオ港發七月七日

●シアトル丸
日本ヨリ　リオ港着　七月三日
サントス着　七月五日

尙詳細は左記へ御問合せ被下度候

Antunes dos Santos & Co.
S. Paulo :— Rua José Bonifacio, 17
Santos :— Rua 15 de Novembre 167
Wilson Sons & Co. Ltd.
Rio de Janeiro :— Av. Rio Branco, 37

ANTUNES DOS SANTOS & COMP.
AGENTES DAS COMPANHIAS
NIPPON YUSEN KAISHA

日本郵船會社船出入廣告

●神奈川丸
六月中旬ブエノス發リオに寄港
ケープタウンを經て日本行き

御用の方は左記へ御照會被下度候

アンツーネス、ドス、サントス會社
Caixa Postal, 237
Rua José Bonifacio 17,
S. Paulo

BANCO ESPECIE DE YOKOHAMA, LTD.
(THE YOKOHAMA SPECIE BANK, LTD.)
Rua da Candelaria, No. 23
Caixa Postal 380
Rio de Janeiro

キリトリテ、デガミノ、オモテニ、ハラルベシ

鄕里送金

一、日本金に引直相場は當分伯貨三ミル五百五十レースにつき日本金壹圓
二、日本内地郵便爲替料、書留料共總て當店に於て負擔いたし即ち全く無料にて御鄕里の受取人へ送り屆け申候
三、金子は現金封入、郵便爲替又は銀行小切手にて當店へ御送り被下度猶ほ横濱正金銀行勘定として Banco Commercial do Estado de São Paulo へ御拂込被下候ても差支無之候
四、何れにしても送金申込の節は必ず忘れずに當店へ御送り被下たく

預金

日本貨定期預金利息　年六分
伯貨定期預金利息　六ケ月以上　年四分五厘
伯貨當座預金（小口）　壹ケ年以上　年五分
年四分

◆預送金用紙は御請求次第直に御送り可致御不審の點は御遠慮なく御問合せ被下度候

◆預金通帳は書留郵便にて御送付可申上候間御申込の際最寄郵便局御指定相成候はゞ御便宜に有之候

リオデジャネイロ
横濱正金銀行支店